

経済産業省基盤情報システムの運用管理業務の調達について

平成24年11月12日
 経済産業省大臣官房
 情報システム厚生課

「経済産業省基盤情報システムの運用管理業務」は、平成 23 年の市場化テスト事業選定の際に、各府省の行政情報ネットワークシステム関連業務を一斉に市場化テストの対象とする方針に従って、平成 23 年7月の閣議決定において、選定されたものである。

平成23年7月閣議決定「公共サービス改革基本方針」の別表(関係部分抜粋)

<p>ア 経済産業省 基盤情報システム の運用管理 業務</p>	<p>○ 経済産業省基盤情報システムの運用管理業務について、民間競争入札を実施する。原則として次のとおりとする。</p> <p>【入札等の実施予定時期】 平成 25 年 1 月を目途に入札公告し、平成 25 年 4 月から落札者による事業を実施</p> <p>【契約期間】 平成 25 年 4 月から平成 28 年 9 月までの3年6か月間</p>
--	--

当該システムにおいては、これまでは経済産業省側でのシステム運用を行っており、そのための運用支援要員の調達を行っていたのと、平成23年7月の事業選定時点では次期基盤情報システムの調達方針が決定していなかったため、市場化テストの対象案件として選定されたものである。

現在の調達形態は、IT機器、回線、運用管理業務等を個別に調達していたが、平成 25 年2月から導入する次期基盤情報システムでは、これらを再編しクライアントPCサービス、セキュリティサービスなど9種のサービスに分けて提供を受ける形での調達を行い、一般競争入札の結果、平成 24 年4月に事業者が決定した。このため、次期基盤情報システムの運用管理業務の調達を行わないこととなった。

なお、当省情報システム担当職員へアドバイスをするコンサルティング業務の調達をする予定だが、従来の運用管理業務とは全く異なるものである。

さらに、次期の基盤情報システムにおいては、今回同様サービス提供として同様の調達を行うか否かについては、稼働後の状況や運用保守面、コスト面等を総合的に勘案し、決定する予定である。

以上